

交野市教委ニュース

第107号（令和元年5月17日発行）

たなばた学園（交野市立第二中学校） SNSスマホ安全教室

5月8日（水）たなばた学園（交野市立第二中学校）において、以前にも郡津小学校、倉治小学校でお世話になった、兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会の方2名を講師としてお招きし、SNSスマホ安全教室を実施しました。

中学校1年生～3年生の全学年を対象に、スマートフォンやSNSを利用する際に、気をつけなければならないことについて、具体的事例を取り上げながら、わかりやすく講演していただきました。

どの学年の生徒も、自分たちに身近なスマートフォンやSNSについてどのような話があるのか興味津々の様子でした。また、年齢も近い講師からのお話は、とてもリアリティがあり食い入るように話を聞いていました。

SNS スマホ安全教室の内容と様子

【講演内容「こんなときどうする？」】

- ・ 無料スタンプ・アプリをダウンロードするために、個人情報を入力して、情報漏洩してしまった
- ・ SNS上に友だちと遊んだ際のことを写真付きでアップロードしたが、友だちの許可を取っておらず人間関係が悪くなってしまった
- ・ 「美味しそうで映える写真」をSNS上にアップロードするためだけに食べ物を購入し食べずに捨ててしまう
- ・ スマホを使用することで費やされる時間、そして、その時間の大切さについて など



アニメーションなどを使って分かりやすくスマートフォンやSNSとの関わり方を教えていただきました！

講演では、ほとんどの生徒が何らかの形で、スマートフォンやSNSなどを使用していると挙手がありました。身近なものとしてあるスマートフォンや簡単に使用することができるSNSだからこそ、一度立ち止まり、その先のことまでよく考えて使わなければならないことを今回の講演で改めて考えることができました。

児童生徒に関わるスマートフォンやSNSトラブルは年々増加傾向にあります。今後トラブルに巻き込まれないためにも、子どもたちにはスマートフォンの正しい使い方を身に付けるとともに、これからも継続してスマートフォンやSNSの有用性や危険性について学んでいって欲しいです。